

論文の内容の要旨

論文題目 WEB 上での創作活動を促すプラットフォームの研究

氏名 江渡 浩一郎

建築家クリストファー・アレグザンダーは、利用者が建築の設計に関与できるようにするための手法としてパターン理論を生み出した。パターン理論は後にソフトウェア開発に応用され、デザインパターンという概念を生んだ。また、ソフトウェア開発のプロセスにも応用され、エクストリームプログラミングという開発手法となった。ウォード・カニンガムは共同で Web サイトを構築する仕組みである WikiWikiWeb(Wiki)を開発した。Wiki ではコミュニケーションを含めてパターンの対象としており、Wiki はコミュニケーションパターンを設計思想にしているといえる。本研究では、このコミュニケーションパターンを発展させ、共同で創作物を作成する行為を支援するための「創造コミュニケーションパターン」を提案する。

qwikWeb においては、メーリングリストを中心としたコミュニティにおいて、共同での文章作成を促すことによって、より容易に合意形成をとることができるようなコラボレーション環境を提案した。本システムをデザイン、実装、運用改良し運用データの分析を行うことで本システムの妥当性と有効性を示す。

Modulobe においては、動く表現物を容易に創作し、共有できる環境を提供した。そこで、モデル間の引用関係を可視化することによって、参考にしたモデルへの敬意を示すことを容易に行えるようにした。ユーザは作成したモデルをモデル共有サイトで共有し、またサイト上のモデルを元に改良し独自のモデルへと発展させることもできる。試験運用の結果についても述べる。